

上津校区の指定文化財

| | 名称 | 時代 | 内容 |
|---|------------------------|----|------------------------|
| A | 浦山古墳(国指定) | 古墳 | 5世紀に造られた古墳。内部に家形石棺を安置。 |
| B | 極楽寺古墳群(市指定) | 古墳 | 径20mの円墳2基を保存。 |
| C | 極楽寺の六地藏菩薩 図像板碑(市指定) | 室町 | 線刻された像は頭光を備え連座に立つと伝承。 |

上津校区の文化財

| | 名称 | 時代 | 内容 |
|---|-------------|--------|---|
| ① | 車地遺跡 | 旧石器～江戸 | 旧石器時代の石器や奈良時代の官道「西海道」を発見。 |
| ② | 古賀前遺跡 | 弥生～室町 | 弥生の集落跡からは、湧水を利用してドングリの灰汁抜きを行った貯蔵穴を発見。 |
| ③ | 上津シテ遺跡 | 旧石器～江戸 | 旧石器時代の石器や室町時代の屋敷跡を発見。 |
| ④ | 原ノ前遺跡 | 室町 | 溝から土師器が出土。 |
| ⑤ | 原屋敷遺跡 | 平安 | 大溝から土師器が出土。 |
| ⑥ | 笹井原遺跡 | 弥生～室町 | 弥生時代の大きな集落跡で、土器の他に鉄器、石器、管玉、炭化米など多量の遺物が出土。 |
| ⑦ | 松本屋敷遺跡 | 平安～室町 | 溝などから土師器や須恵器が出土。 |
| ⑧ | 本山天満宮遺跡 | 縄文・弥生 | いろいろな石器や弥生土器を発見。 |
| ⑨ | 上津土塁跡 | 飛鳥 | 大宰府を守る防衛施設。 |
| ⑩ | 十ノ江遺跡 | 弥生 | 弥生土器が出土。 |
| ⑪ | 平野遺跡 | 縄文・古墳 | 古墳時代の館跡を発見。 |
| ⑫ | 豊姫宮などの石祠群 | 大正 | 本山天満宮の裏手に祀られている石祠群。 |
| ⑬ | 本山古墳 | 古墳 | 埴輪や須恵器を発見。 |
| ⑭ | 本山古墳群 | 古墳 | 数基の円墳で構成される |
| ⑮ | 光勝寺の地蔵石仏 | 江戸 | 宝暦九年の銘がある |
| ⑯ | 屋敷A遺跡 | 縄文・鎌倉 | 石器や土器を発見。 |
| ⑰ | 屋敷B遺跡 | 弥生 | 甕棺墓を発見。 |
| ⑱ | 屋敷古墳群 | 古墳 | 藤光天満宮境内などに大石あり。 |
| ⑲ | 本山D遺跡 | 弥生 | ため池のほとりで石器を発見。 |
| ⑲ | 本山F遺跡 | 弥生 | 石器や石材が散布。 |
| ⑲ | 本山E遺跡 | 縄文 | ため池のほとりで石器を発見。 |
| ⑲ | 平野窯跡 | 古墳 | 須恵器が散布。 |
| ⑲ | 大乘妙典六十六部供養塔 | 江戸 | 安政元年建立。薩摩・坊ノ津街道の分岐点にあり、道標の役も担う。 |

上津校区の文化財

| | 名称 | 時代 | 内容 |
|---|-----------|--------|---------------------------------------|
| ⑲ | 瞳ヶ池遺跡 | 旧石器・縄文 | 上津小学校の裏山で石器を発見。 |
| ⑲ | 中尾山遺跡 | 古墳 | 須恵器を発見。 |
| ⑲ | 水神遺跡 | 縄文 | 鍬などの石器を発見。 |
| ⑲ | 西海道 | 奈良～平安 | 大宰府と地方を結ぶ古代の官道。 |
| ⑲ | 東林寺跡 | 江戸 | 有馬家、徳川將軍家の祈禱寺跡。 |
| ⑲ | ドイツ兵俘虜収容所 | 大正 | 第一次世界大戦の捕虜が一時期収容された。 |
| ⑲ | 新堤遺跡 | 旧石器・縄文 | 槍先や鍬などの石器を発見。 |
| ⑲ | 薩摩・坊ノ津街道 | 中世～江戸 | 参勤交代にも使われた主要道路。 |
| ⑲ | 西浦山遺跡 | 縄文・古墳 | 石器や須恵器が散布。 |
| ⑲ | 西浦山古墳群 | 古墳 | 数基の円墳があり、須恵器が散布。 |
| ⑲ | 向野遺跡 | 縄文・古墳 | 石器や須恵器・土師器などを発見。 |
| ⑲ | 北宇土池遺跡 | 旧石器・縄文 | いろいろな石器を採集。 |
| ⑲ | 大坪池遺跡 | 縄文・古墳 | 石器や生焼けの須恵器を発見。 |
| ⑲ | 北上村古墳 | 古墳 | 円墳。竹藪の中に一部が残る。 |
| ⑲ | 浦山遺跡 | 縄文 | 石器を作る石材が散布。 |
| ⑲ | 弘法さん | 江戸 | 八十八体の石仏が並ぶ。 |
| ⑲ | 浦山古墳群 | 古墳 | 浦山公園内に6つの古墳が残る。公園内の「古墳館」で古墳時代の資料を展示中。 |
| ⑲ | ホイト池瓦窯跡 | 奈良 | 瓦を焼いた窯跡。 |
| ⑲ | 池田窯跡 | 古墳 | 須恵器を焼いた窯跡を2基発見。 |
| ⑲ | ヨイタ遺跡 | 古墳 | 土師器・須恵器が散布。 |
| ⑲ | 鉾立古墳 | 古墳 | 円墳。石室は崩壊。 |
| ⑲ | 甲塚遺跡 | 旧石器・縄文 | 縄文土器や石器を発見。 |
| ⑲ | 福島往還 | 江戸 | 久留米から八女福島へ通じる道。 |
| ⑲ | 向日焼古墳群 | 古墳 | 3基の円墳が現存。小型の竪穴式石室があり、丹塗土器を発見。 |
| ⑲ | 釜口遺跡 | 古墳 | 祭祀用の土器を発見。 |
| ⑲ | 藤山甲塚古墳 | 古墳 | 5世紀に造られた古墳。 |
| ⑲ | 甲塚古墳群 | 古墳 | 数基の円墳で構成。現存せず。 |
| ⑲ | 飛嶽山頂遺跡 | 不明 | 土師器が散布。 |
| ⑲ | 藤山道 | 古墳 | 古墳時代から存在していたと考えられる。 |
| ⑲ | 藤吉遺跡 | 不明 | 土師器が散布。 |
| ⑲ | 専修寺跡 | 不明 | 行基が開祖と伝わる。 |
| ⑲ | 辻古墳 | 古墳 | 古墳の名残の高まりが残る。 |
| ⑲ | 辻遺跡 | 縄文・室町? | 石器や土師器を発見。 |
| ⑲ | 三井電気軌道福島線 | 大正～昭和 | 日吉町から八女の福島間を走行。 |

③ 上津シテ遺跡

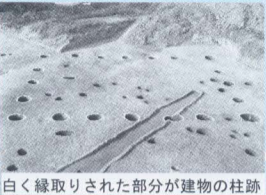
旧石器時代の石器や、室町から江戸時代にかけての集落跡がみつかります。室町時代の屋敷跡では、溝に囲まれた、主屋・副屋、納屋が見つかりました。



発掘調査の様子

⑪ 平野遺跡

古墳時代の豪族の屋敷の跡と考えられる建物の柱跡がみつかります。「藤山道」を監視する目的で、この場所に当時の有力者が住んでいたのでしょう。



白く録取りされた部分が建物の柱跡

⑬ 本山古墳

本山納骨堂の敷地にある全長50m以上と推定される前方後円墳で、藤山甲塚古墳や浦山古墳とならんで、この地域の首長墓のひとつとみられます。納骨堂の裏には古墳の断面が見える箇所があり、何層にも土を突き固めて墳丘が造られたことがわかります。



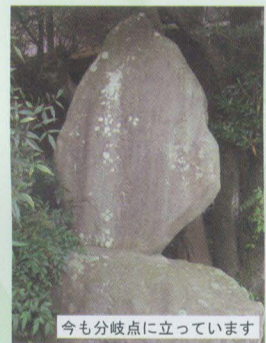
本山古墳の墳丘



納骨堂裏の古墳の断面露頭

⑲ 大乘妙典六十六部供養塔

安政元(1854)年に街道をゆく牛馬の供養塔として建立されたもので、石碑中央に「大乘妙典六十六部供養塔」と刻まれています。坊ノ津街道が福島往還と分岐する地点にあり、石碑の左右端に「ふくしま・はいんつか」とも記されており、道標の役割も担っていました。市内に残る江戸時代の街道の資料として貴重なものです。



今も分岐点に立っています

⑲ 弘法さん

成田山と浦山公園の間の丘の上にあります。天保年間に旅の僧のお告げにより、疫病払いのために祀られ、今も八十八体の石仏が並んでいます。



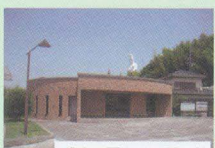
参道と弘法大使像



建ち並ぶ石仏の一部

⑲ 浦山古墳群

成田山周辺から浦山公園一帯に広がる丘陵に造られた古墳群で、20数基の古墳が存在していました。現在も浦山公園内に6基の古墳が残っていて、公園入口にある古墳館で資料の展示も行っています。



浦山公園入口の展示館

⑨ 上津土塁

大宰府を守るために造られた土塁で、発掘調査により天武七(678)年の筑紫大地震で一度壊れて、修繕されたことがわかりました。



納骨堂の築山として残る上津土塁 土塁の地下断面

⑫ 豊姫宮などの石祠群

本山天満宮の裏には、大正年間に上津荒木村各所から集められた大きな三祠があり、中央に豊姫宮、右に若宮八幡宮、左に天満社。その左右にも小さな石祠や石碑が並び、古いものは18世紀のものもあります。



中央が豊姫宮、右が若宮八幡宮、左が天満社

⑮ 光勝寺の地蔵石仏

宝暦9(1759)年の銘があり、以前は幼児のよだれ止めを祈願したとの言い伝えがありました。



お堂の中に安置される地蔵石仏

⑲ 西海道跡

「西海道」は、古代の律令国家が都と地方を結ぶために整備した官道で、道幅が10m近くあり、道の両側には側溝がある立派な道路でした。久留米市内では発掘調査により4ヶ所で確認されていますが、そのうちの2ヶ所は上津藤光遺跡群を構成する車地遺跡、古賀前遺跡での調査で発見されました。



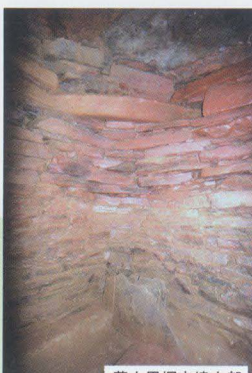
車地遺跡で発見された西海道

⑲ 東林寺跡

元禄15(1702)年、四代藩主有馬頼元によって有馬家・徳川將軍家の祈禱寺として建立されました。現在は天満宮だけが残っています。

⑲ 藤山甲塚古墳

平成元年に発掘調査が行われ、5世紀中頃に造られた、全長70mの帆立貝式の前方後円墳という事がわかりました。完成当時は葺石で覆われ、埴輪が並んでいたと考えられています。内部は、熊本に多く見られる石障系石室とよばれる石室があり、赤い顔料が全面に塗られています。



藤山甲塚古墳内部



藤山甲塚古墳の墳丘と案内板